

平成 20 年 10 月 10 日

ご投資家の皆様へ

T&D アセットマネジメント株式会社

10 月 8 日の海外金融市場の混乱と 10 月 9 日の弊社投資信託の基準価

額への影響について

足許の市場動向

8 日のアジア株式相場は、前日のニューヨーク株式市場の急落を引き継ぐ形で、大きく下落しました。日経平均株価は 952 円安 (▲9.4%) の下落で、1987 年 10 月のブラックマンデー以来の大幅安となる一方、香港ハンセン指数も 8.2% の下落となりました。また、インドネシア証券取引所は、ジャカルタ総合指数が 10% 下落したことから取引を停止しました。

金融市場の混乱が収束しない中、米連邦準備制度理事会 (FRB) や欧州中央銀行 (ECB) など主要 6 カ国・地域の中央銀行は、日本時間午後 8 時頃 (米国 8 日早朝) 協調利下げを発表し、いずれも政策金利を 0.5% 引き下げました。

欧州株式市場は、この発表を受けて当初株価は反発しましたが、銀行間貸出金利が高止まるなど、依然として不透明感が市場から消えず、次第に株価は軟化し、DAX 指数 (ドイツ)、FT100 指数 (英国) 等の主要な欧州株価指数は 5% を超えて下落しました。この動きは東欧市場にも波及し、ロシア株式市場 (RTS) は 11% 下落したことから取引を停止いたしました。

米国株式も、利下げによる景気回復への期待感や前日までの急落の反動で、NYダウ工業株 30 種も一時 180 ドル高まで買われましたが、ポールソン米財務長官が「破たんする銀行がさらに出てくる可能性がある」と発言したことなどを受け、取引終了にかけて金融関連株中心に売られ、NYダウ工業株 30 種は 189 ドル安 (▲2.0%) で引けるなど、異例の協調利下げでも世界的な株安の連鎖を止められない展開となりました。

債券市場では、米国債の増発で需給が悪化するとの見方から売られ、国債利回りは上昇 (価格は低下) しました。

為替は、協調利下げを受けて円が主要通貨に対して全般的に下落し、ドル円は一時 101 円台を回復しましたが、株価の上昇が限定的だったこともあって円の下落も続かず、その後ドル円は 100 円を挟んで方向感のない展開となりました。

今後の見通し

景気は、内外ともに今後さらに厳しさを増すとみています。米国では、雇用の鈍化、住宅価格の下落などから個人消費のさらなる減速が見込まれ、外需についても新興国経済に変調がみられており、全体として減速感が強まると考えます。また、足許の金融システム不安再燃による信用スプレ

ッドの拡大などの金融環境の悪化がさらに景気の下押し圧力となる可能性が強まっています。日本でも雇用の伸び悩みなどから内需に力強さがみられず、外需の牽引力も低下が予測されることから、景気の減速感が強まるとみています。

こうした厳しい経済環境の下で、内外の株式市場は当面下値を模索する動きが続くものとみています。これまでの株価下落を受けて、PER、PBR、配当利回り等の一般的なバリュエーション指標には割安感も出始めていますが、景気悪化リスクが一段と高まるなか、企業収益への下押し圧力が強まっていること、金融不安がくすぶるなかで投資家のリスク回避姿勢が強まっていることなどから、当面こうしたバリュエーション指標が十分に機能しない可能性が高いとみています。

債券市場は、内外ともに景気下ぶれリスクが意識されやすい環境のもとで、金利低下基調が継続するとみています。

また、為替については、米国での金融不安、景気失速懸念が残るなかで追加利下げ期待の高まりや投資家のリスク回避姿勢の強まりから、緩やかな円高ドル安傾向を予測しています。

なお、「今後の見通し」の詳細に関しましては、弊社ホームページ掲載の「投資環境レポート」をご参照ください。

以上

当社ファンドへの影響

ファンド名	平成 20 年 10 月 8 日 基準価額 (円)	平成 20 年 10 月 9 日 基準価額 (円)	騰落幅 (円)	騰落率 (%)
コスモ・中国株厳選ファンド	7,453	6,620	▲ 833	▲ 11.18
中国株厳選ファンド 3 ヶ月決算型	5,691	5,054	▲ 637	▲ 11.19
欧州新成長国株式ファンド	5,173	4,834	▲ 339	▲ 6.55
アジア・ダブルプレミア・ファンド	5,457	4,999	▲ 458	▲ 8.39
世界サステナビリティ株式ファンド	4,959	4,643	▲ 316	▲ 6.37
中国環境関連ビジネスファンド	7,789	7,387	▲ 402	▲ 5.16

市況情報

	平成 20 年 10 月 7 日	平成 20 年 10 月 8 日	騰落率(%)
NY ダウ工業株 30 種	9,447.11	9,258.1	▲ 2
S&P 500	996.23	984.94	▲ 1.13
ドイツ DAX 指数	5,326.63	5,013.62	▲ 5.88
フランス CAC40 指数	3,732.22	3,496.89	▲ 6.31
FT100 指数	4,605.22	4,366.69	▲ 5.18
香港/ハンセン指数()	16,803.8	15,431.7	▲ 8.17
シンガポール ST 指数	2,177.55	2,033.61	▲ 6.61
NOMURA-CEE INDEX	271.13	258.09	▲ 4.81

海外の市場については基準価額への影響を考慮し、10 月 7 日から 10 月 8 日としています。

() 香港証券取引所は平成 20 年 10 月 7 日休業日のため、上記香港/ハンセン指数 平成 20 年 10 月 7 日付指数(16,803.8)は、平成 20 年 10 月 6 日付指数を使用しています。

	平成 20 年 10 月 8 日	平成 20 年 10 月 9 日	騰落率(%)
米国ドル(*)	101.61	99.98	▲ 1.6
ユーロ(*)	138.02	135.78	▲ 1.62
香港ドル(*)	13.07	12.87	▲ 1.53

(*) 為替レートは三菱東京 UFJ 銀行の対顧客公示相場の仲値

出所:ブルームバーグ

文中に引用した各インデックス(指数)の商標、著作権、知的財産権およびその他一切の権利は各インデックスの算出元に帰属します。また各インデックスの算出元は、インデックスの内容を変更する権利および発表を停止する権利を有しています。海外株式市場のデータは基準価額への反映を考慮して1営業日前のものを使用しています。

Nomura Central and East Europe Index(NOMURA-CEEインデックス) は、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、Nomura Central and East Europe Indexの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

本資料はご投資家の皆様に T&D アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。その正確性・完全性を保証するものではありません。また投資信託の取得をご希望の場合は、下記のご留意事項を必ずご確認ください、ご自身でご判断ください。

投資信託のお申込に際してのご留意事項

投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券、投資信託証券など値動きのある有価証券（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。これら運用による損益は全てご投資家の皆様に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書（交付目論見書）をよくお読みいただき、ご自身でご判断ください。

投資信託に係る費用について

【お客様には以下の費用をご負担いただきます】

ご購入時に直接ご負担いただく費用

お申込手数料・・・上限 3.15%（税込）

保有期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬・・・上限 1.995%（税込）

その他費用・・・上記以外に保有期間に応じてご負担いただく費用があります。

ご換金時に直接ご負担いただく費用

信託財産留保額・・・上限 0.5%

当該手数料等の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）でご確認ください。

（ご注意）

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、T&D アセットマネジメントが運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、事前に投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

■当社の概要

商 号：T & D アセットマネジメント株式会社

登録番号：金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 357 号

加入協会：（社）投資信託協会 （社）日本証券投資顧問業協会